

平成25年度
補正予算の概要

(H26. 3月議決分)

1 一般会計 歳入歳出予算総括表(H26.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 市税	14,418,179	158,188	14,576,367
2 地方譲与税	324,000		324,000
3 利子割交付金	36,000	△ 4,000	32,000
4 配当割交付金	35,000	19,000	54,000
5 株式等譲渡所得割交付金	3,000	87,000	90,000
6 地方消費税交付金	880,000	△ 20,000	860,000
7 ゴルフ場利用税交付金	59,000		59,000
8 自動車取得税交付金	58,000		58,000
9 地方特例交付金	61,182		61,182
10 地方交付税	4,657,823	10,740	4,668,563
11 交通安全対策特別交付金	18,000		18,000
12 分担金及び負担金	429,192		429,192
13 使用料及び手数料	223,322		223,322
14 国庫支出金	6,349,606	91,467	6,441,073
15 県支出金	1,938,138	△ 29,454	1,908,684
16 財産収入	65,852	△ 19,243	46,609
17 寄附金	199	1,811	2,010
18 繰入金	519,144	△ 141,763	377,381
19 繰越金	1,342,925		1,342,925
20 諸収入	1,485,743	1,161	1,486,904
21 市債	3,608,300	629,400	4,237,700
計	36,512,605	784,307	37,296,912

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 議会費	290,909	525	291,434
2 総務費	5,379,473	67,569	5,447,042
3 民生費	10,996,913	△ 60,266	10,936,647
4 衛生費	4,266,822	△ 177,338	4,089,484
5 農林水産業費	263,839	783	264,622
6 商工費	408,339	△ 7,441	400,898
7 土木費	4,496,261	△ 85,526	4,410,735
8 消防費	1,925,033	△ 1,785	1,923,248
9 教育費	3,475,553	1,047,786	4,523,339
10 災害復旧費	5		5
11 公債費	4,284,307		4,284,307
12 諸支出金	675,151		675,151
13 予備費	50,000		50,000
計	36,512,605	784,307	37,296,912

補正予算のポイント

今回の一般会計補正予算は、第1回定例議会(H26年3月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ7億8,430万7千円を増額し、予算総額を372億9,691万2千円としました。

今回の補正予算は、以下の3項目について補正を行いました。①国の経済対策による第1号補正予算を活用した学校施設の耐震補強や大規模改造事業。②放射能対策経費の減額。③各事業費の確定に伴う係数整理による補正です。以下にその主な内容を解説します。

なお、継続費を設定した本庁舎耐震補強大規模改修事業については、平成25年度の事業費確定により年割額を下記の表のとおり減額し実施します。

継続費

(単位 千円)

款	項	事業名	補正前			補正後		
			総額	年度	年割額	総額	年度	年割額
2 総務費	1 総務管理費	本庁舎耐震補強大規模改修事業	567,200	平成25年度	170,160	550,067	平成25年度	153,027
				平成26年度	397,040		平成26年度	397,040

【歳出】

① 国の経済対策事業

(1)平成25年度東日本大震災復興特別会計予算(第1号補正)による事業・・・2,500万円増
[内訳] (教育総務課)

・取手一中武道場耐震補強事業 2,500万円

(2)平成25年度一般会計予算(第1号補正)による事業・・・10億3,250万円増(教育総務課)

[内訳]

・吉田小校舎増築・大規模改造事業 6億4,060万円

・戸頭東小校舎大規模改造事業 3億2,090万円

・藤代小校舎トイレ改修事業 7,100万円

② 放射能対策経費・・・1億7,905万7千円減(放射能対策課)

公園、保育所等の除染に伴う詳細調査を実施した結果、当初見込んでいた空間線量を下回った施設があり、除染対象施設、除染面積等が減となったため、減額します。

③ については、事業費の確定に伴い、契約差金等を減額します。

【歳入】

●個人市民税・・・1億523万5千円増(課税課)

当初予算は、前年度に対し4.0%減で見込みましたが、2.0%減にとどまる見込みのため増額しま

す。

●**固定資産税(償却資産)・・・1,913万8千円増(課税課)**

当初予算は、前年度に対し6.0%減で見込みましたが、4.0%減にとどまる見込みのため増額します。

●**市たばこ税・・・3,381万5千円増(課税課)**

消費量の減少を引き続き見込んでいましたが、平成25年度たばこ販売本数は当初見込みを上回るため増額します。

●**配当割交付金・・・1,900万円増 株式等譲渡所得割交付金・・・8,700万円増(財政課)**

県の3月補正で増額補正が行われ、市への交付額も増となる見込みのため補正します。

●**国庫支出金・・・9,146万7千円増**

「地域の元気臨時交付金」の補助金交付決定に伴い、地域経済活性化・雇用創出臨時交付金3,194万5千円の増額。学校施設の耐震補強や大規模改造事業に伴う公立学校施設整備費負担金9,879万7千円及び学校施設環境改善交付金1億9,619万5千円の増額。

子育て支援交付金3,203万8千円、放射線量低減対策特別緊急事業費補助金1億8,055万7千円の減額。

その他、事業費の確定による国庫補助金等の減額をします。

●**県支出金・・・2,945万4千円減**

子育て支援対策臨時特例交付金2,187万6千円を増額します。

東日本大震災に係る災害救助費負担金846万円、保育所運営費936万6千円、民間保育園子育て支援体制緊急整備事業補助金788万5千円、新市町村づくり支援事業費補助金1,922万2千円などを減額します。

●**基金繰入金・・・1億4,176万3千円減**

財政調整基金繰入金1億3,831万4千円、公共施設整備基金繰入金286万円を減額し、その他の基金繰入金については基金充当事業の事業費確定により補正します。

●**市債・・・6億2,940万円増(財政課)**

国の経済対策による第1号補正予算を活用した学校施設の耐震補強や大規模改造事業の前倒しに伴い合併特例債7億4,630万円、緊急防災・減災事業債260万円、全国防災事業債1,320万円を増額します。

その他、合併特例債7,620万円など、事業費の確定による地方債の減額を行います。

2 取手駅西口都市整備事業特別会計 歳入歳出予算総括表(H26.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 使用料及び手数料	9		9
2 国庫支出金	1,048,300	△ 19,500	1,028,800
3 繰入金	524,838	△ 10,763	514,075
4 繰越金	13,943		13,943
5 諸収入	17,610	△ 7,600	10,010
6 市債	1,259,500	△ 8,500	1,251,000
7 県支出金		8,569	8,569
計	2,864,200	△ 37,794	2,826,406

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 事業費	2,637,187	△ 37,794	2,599,393
2 公債費	226,513		226,513
3 予備費	500		500
計	2,864,200	△ 37,794	2,826,406

補正予算のポイント

今回の取手駅西口都市整備事業特別会計補正予算は、第1回定例議会(H26年3月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ3,779万4千円を減額し、予算総額を28億2,640万6千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 取手駅北地区歩行者デッキ整備事業・・・3,358万5千円減(中心市街地整備課)
- 自転車駐車場整備事業・・・162万円減(中心市街地整備課)
事業費の確定により減額します。
なお、平成24年度から2カ年の事業費は下記のとおりです。

継続費

(単位:千円)

款	項	事業名	補正前			補正後		
			総額	年度	年割額	総額	年度	年割額
1 事業費	3 事業費	取手駅北地区歩行者デッキ整備事業	540,000	平成24年度	54,000	506,415	平成24年度	54,000
				平成25年度	486,000		平成25年度	452,415
		自転車駐車場整備事業	543,000	平成24年度	311,500	541,380	平成24年度	311,500
				平成25年度	231,500		平成25年度	229,880

- 取手駅北土地区画整理事業・・・258万9千円減(区画整理課)
事業の完了や契約金額の確定により減額します。

【歳入】

- 国庫補助金・・・1,950万円減(中心市街地整備課)
歩行者デッキ及び自転車駐車場整備事業費の減に伴い、社会資本整備総合交付金を減額します。
- 一般会計繰入金・・・1,076万3千円減(中心市街地整備課)
一般会計からの繰入金を減額します。
- 地方債・・・850万円減(中心市街地整備課・区画整理課)
歩行者デッキ及び自転車駐車場整備事業費の減に伴い、合併特例債を770万円減額、取手駅北土地区画整理事業費の減に伴い、取手駅北土地区画整理事業債を80万円減額します。

3 国民健康保険事業特別会計 歳入歳出予算総括表(H26.3月補正分)

(歳入) (単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 国民健康保険税	3,168,470		3,168,470
2 使用料及び手数料	1,100		1,100
3 国庫支出金	2,082,423	△ 10,237	2,072,186
4 療養給付費等交付金	679,737	25,204	704,941
5 前期高齢者交付金	3,864,618		3,864,618
6 県支出金	692,535	△ 10,694	681,841
7 共同事業交付金	1,227,000	△ 148,332	1,078,668
8 財産収入	3		3
9 繰入金	744,701	△ 6,774	737,927
10 繰越金	668,341		668,341
11 諸収入	23,305		23,305
計	13,152,233	△ 150,833	13,001,400

(歳出) (単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	250,275		250,275
2 保険給付費	8,620,465		8,620,465
3 後期高齢者支援金等	1,818,796		1,818,796
4 前期高齢者納付金等	1,896		1,896
5 老人保健拠出金	101		101
6 介護納付金	719,813	△ 12,601	707,212
7 共同事業拠出金	1,227,010	△ 128,267	1,098,743
8 保健事業費	132,529	△ 9,965	122,564
9 基金積立金	180,026		180,026
10 公債費	1,083		1,083
11 諸支出金	180,239		180,239
12 予備費	20,000		20,000
計	13,152,233	△ 150,833	13,001,400

補正予算のポイント

今回の国民健康保険事業特別会計補正予算は、第1回定例議会(H26年3月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ1億5,083万3千円を減額し、予算総額を130億140万円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 介護納付金・・・1,260万1千円減(国保年金課)

介護保険法により、40歳から65歳未満の医療保険加入者が介護納付金の納付に充てるための費用を国保税に課税した納付金の額が確定したため、減額します。

- 共同事業拠出金・・・1億2,826万7千円減(国保年金課)

高額な医療費の発生による国保財政の急激な影響の緩和を図るため、各市町村からの拠出金を財源として、都道府県単位で費用負担を調整する共同事業拠出金の額が確定したため、減額します。

【歳入】

- 国庫支出金・・・1,023万7千円減(国保年金課)

- 県支出金・・・1,069万4千円減(国保年金課)

共同事業拠出金に対する、国及び県の負担分を減額します。

- 共同事業交付金・・・1億4,833万2千円減(国保年金課)

社会保険診療報酬支払基金から支払われる交付金を減額します。

4 後期高齢者医療特別会計 歳入歳出予算総括表(H26.3月補正分)

(歳入) (単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 後期高齢者医療保険料	843,655	44,835	888,490
2 使用料及び手数料	120		120
3 繰入金	1,011,242	△ 280	1,010,962
4 繰越金	12,562		12,562
5 諸収入	2,005		2,005
6 県支出金		280	280
計	1,869,584	44,835	1,914,419

(歳出) (単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	122,064		122,064
2 後期高齢者医療広域連合納付金	1,733,465	44,835	1,778,300
3 諸支出金	13,955		13,955
4 予備費	100		100
計	1,869,584	44,835	1,914,419

補正予算のポイント

今回の後期高齢者医療特別会計補正予算は、第1回定例議会(H26年3月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ4,483万5千円を増額し、予算総額を19億1,441万9千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 後期高齢者医療広域連合保険料納付金・・・4,483万5千円増(国保年金課)
保険料収入の増額に伴い、広域連合への納付金を増額します。

【歳入】

- 後期高齢者医療保険料・・・4,483万5千円増(国保年金課)
特別徴収分は563万8千円増、普通徴収分は3,919万7千円増となります。

5 介護保険特別会計 歳入歳出予算総括表(H26.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 介護保険料	1,501,435	695	1,502,130
2 使用料及び手数料	101		101
3 国庫支出金	1,134,015	1,581	1,135,596
4 支払基金交付金	1,806,321	1,611	1,807,932
5 県支出金	927,497	694	928,191
6 財産収入	112		112
7 繰入金	1,064,328	1,306	1,065,634
8 繰越金	126,005		126,005
9 諸収入	461		461
計	6,560,275	5,887	6,566,162

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 総務費	137,834		137,834
2 保険給付費	6,193,579	5,556	6,199,135
3 地域支援事業費	99,519		99,519
4 諸支出金	109,343	331	109,674
5 予備費	20,000		20,000
計	6,560,275	5,887	6,566,162

補正予算のポイント

今回の介護保険特別会計補正予算は、第1回定例議会(H26年3月)において、既定の歳入歳出予算にそれぞれ588万7千円を増額し、予算総額を65億6,616万2千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳出】

- 介護予防サービス給付費・・・569万7千円増(高齢福祉課)
介護予防サービス利用者の増により、給付費を増額します。

【歳入】

- 介護給付費負担金(国・県)・・・180万5千円増(高齢福祉課)
介護給付費に対する、国及び県の負担金を増額します。
- 支払基金交付金・・・161万1千円増(高齢福祉課)
社会保険診療報酬支払基金から支払われる交付金を増額します。
- 基金繰入金・・・701千円増(高齢福祉課)
介護給付費の増額に伴い、介護給付費準備基金繰入金を増額します。

6 介護サービス特別会計 歳入歳出予算総括表(H26.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 サービス収入	19,617	△ 1,622	17,995
2 繰越金	1,330	494	1,824
3 諸収入	14		14
4 繰入金		1,128	1,128
計	20,961	0	20,961

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 サービス事業費	20,861		20,861
2 予備費	100		100
計	20,961	0	20,961

補正予算のポイント

今回の介護サービス特別会計補正予算は、第1回定例議会(平成26年3月)において、既定の歳入歳出予算総額に変更はありませんが、歳入の内訳が変わりました。以下にその主な内容を解説します。

【歳入】

- 介護予防サービス計画費収入・・・162万2千円減(高齢福祉課)
介護予防サービスの利用者の減少に伴い、介護予防サービス計画費収入を減額します。
- 繰越金・・・49万4千円増(高齢福祉課)
- 一般会計繰入金・・・112万8千円増(高齢福祉課)
介護予防サービス計画費収入の減及び繰越金の精算による不足額を、一般会計から繰入れます。

7 競輪事業特別会計 歳入歳出予算総括表(H26.3月補正分)

(歳入)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 入場料収入	3,032	△ 896	2,136
2 車券発売収入	1,500,000	△ 688,961	811,039
3 車券発売副収入	1		1
4 財産収入	33		33
5 繰越金	6,000	37,177	43,177
6 諸収入	40,513	12,000	52,513
計	1,549,579	△ 640,680	908,899

(歳出)

(単位:千円)

款	補正前	補正額	補正後
1 競輪事業費	1,535,162	△ 640,680	894,482
2 公債費	198		198
3 諸支出金	10,000		10,000
4 予備費	4,219		4,219
計	1,549,579	△ 640,680	908,899

補正予算のポイント

今回の競輪事業特別会計補正予算は、第1回定例議会(H26年3月)において、既定の歳入歳出予算からそれぞれ6億4,068万円を減額し、予算総額を9億889万9千円としました。以下にその主な内容を解説します。

【歳入】

- 車券発売収入・・・6億8,896万1千円減(産業振興課)
通常競輪6日間の車券購買額の減少により、車券発売収入を減額します。

【歳出】

- 通常競輪事業・・・6億4,068万円減(産業振興課)
車券発売収入の減収に伴い、的中車券払戻金が5億1,870万の減額となり、また売上額に対して支払う施設使用料や交付金も減となったため減額します。